事務事業評価シート　（評価対象年度 ： 平成30年度）

1.基本的事項 【PLAN】

①事務事業名	施設改善事業	②事業番号	5301
③事業類型	8. 人件費事業	④開始年度	年度
⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし		
⑥根拠法令等	法令 / 条例 / 規則 / 要綱 / 計画等 / その他	法令等の名称	—
⑦実施手法	○ 直営 / 全部委託 / 一部委託 / 補助・負担 / その他		
⑧関連予算科目コード	款 7 / 項 1 / 目 1 / 細目 3		
⑨担当部名	都市整備部	⑩担当課名	住宅公園課
会計	一般会計		

2. 事務事業の現状把握 【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 施設所管課・事業所管課	① 施設所管課数(総数)	課
②	②	

(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
○各公共施設の老朽化や社会状況等の変化に対応するため、施設管理原課などからの依頼により実施。 ○現状把握、問題の整理、情報収集、各種法令確認により事業の具体化が可能かどうかの検討を行う。 ○可能であれば、概算事業費提示、事業実施方法・時期等協議の上、必要な予算の確保。 ○自主設計、または設計委託発注(設計監理)により工事発注用設計図書作成。 ○工事発注(工事監理)、工事完成後、管理部門に引渡し。	① 投資額(工事費及び委託料)	百万円
	② 工事発注件数(工事のみ)	件
	③	

(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
○市民(利用者)の安全確保、利便性・快適性の向上を図る。 ○一定の技術が必要な市の施設の建築工事及び営繕工事等について、一括して設計施工を行うことによって、適正な業務管理を行う。	① 整備施設数(工事のみ)	施設
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	

(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け		
市民(利用者)の満足度の向上を図る。 市が保有する施設全体について、効率的・効果的な施設管理及び整備を行う。	政策(章)	6	みんなでまちづくりに取り組むまち
	施策大(節)	2	市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします
	施策中	1	行政経営の高度化
	施策小	4	高い市民満足度が得られるサービスの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	施設所管課数(総数)	課	7	6	4	10	5	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	投資額(工事費及び委託料)	百万円	298	1,367	1,623	1,007	300	泉南中学校改築工事 H29　1,004百万円 H30　1,507百万円
活動指標②	工事発注件数(工事のみ)	件	15	15	6	29	15	
活動指標③								
成果指標①	整備施設数(工事のみ)	施設	12	14	5	22	12	
成果指標②								
成果指標③								
事業費 投入人員	正職員	人	2.90	2.90	2.50	2.50		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費 事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	23,287	23,510	20,268	20,268		職員による監理のみの為直接事業費は0
	直接事業費	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	23,287	23,510	20,268	20,268		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	23,287	23,510	20,268	20,268		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	公共施設の維持修繕・整備を効率的・効果的に行うために必要となった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	○施設の増加、老朽化により、費用増大している。 ○縮小・合理化、建替えの検討が必要となる。 ○FM計画を踏まえた維持管理の検討
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価 【CHECK】

〔1〕目的妥当性（必要性）　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔1〕の評価 A

評価項目			評価及び理由・説明等
①事務事業の意図すること（目的）は、上位施策（施策小）の達成に貢献しますか。	ア	ア．する イ．ある程度 ウ．しない	保育・教育・生涯学習・住環境の整備を行うことにより、高い市民満足度が得られるように貢献する。
②税金を使って達成する目的ですか。 （市が関与する必要がありますか、市民（特に納税者）の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。）	ア	ア．はい イ．ある程度 ウ．いいえ	公共施設の維持修繕・整備を効率的・効果的に行うため必要である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 （他団体と比較してどうですか。）	イ	ア．合っている イ．ある程度 ウ．いない	公共施設において、市民（利用者）の安全確保、利便性・快適性の向上を図ることは必要不可欠である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活（あるいは上位施策）への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア	ア．影響がある イ．ある程度 ウ．ない	公共施設の利用に支障をきたす。

〔2〕有効性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔2〕の評価 A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア	ア．得られている イ．ある程度 ウ．いない	実施した施設については改善される。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 （事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。）	ア	ア．ある イ．ない	施設の縮小・合理化を行う。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ウ	ア．類似なし イ．できる ウ．できない	類似事務事業：施設管理原課による保全業務。

〔3〕効率性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔3〕の評価 A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト（直接事業費＋人件費）を削減する手法はありませんか。 （業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。）	ア	ア．ある イ．ない	状態が悪化する前の早期の段階で適切な修繕などを行う。 長期的な施設の運営を計画し、改修計画を立てる。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 （歳入確保はできませんか。）	イ	ア．ある イ．ない	公共施設であるため。

4. 総合評価

	評価（A～D）	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
総合評価	A	保有施設の増加および老朽化により、施設保全が追いついていない。 状態が悪化する前の早期での対応が必要である。	A：現状のまま事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案 【ACTION】

＜今後の方向性＞

ア

ア．現状のまま継続　イ．見直しのうえで継続　ウ．終了（＿＿年まで）　エ．休止（＿＿年から）　オ．廃止（＿＿年から）

＜今後の展開方針＞

a. 重点化する（集中的なコスト投入）
b. 手段を改善する（実施主体や実施手段を変える）
c. 効率化する（コストを下げる）
d. 簡素化する（規模を縮小する）
e. 統合する（他の事務事業と統合する）

①改革、改善の具体案、実施年度など	―
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	―